

研究員 の眼

ドリームジャンボの期待 2022

当せんへの期待をどう膨らませるか？

保険研究部 主席研究員 篠原 拓也
(03)3512-1823 tshino@nli-research.co.jp

新型コロナは、4月下旬にワクチンの3回目の接種を終えた人が全人口の半数を超えた。3年ぶりに緊急事態宣言のない大型連休を迎えている。

ただ、感染が終息したわけではない。政府は、マスク着用や石鹸での手洗いなど、感染拡大防止策の継続を促している。

そんな中、今年も5月から6月にかけて、ドリームジャンボ宝くじが発売される。最高当せん金は、1等前後賞合わせて5億円と高額だ。今回の宝くじでは、当せん本数など、一部で昨年から変更となっている部分もある。その変更点をみながら、今年はどう狙うべきか、少し考えてみよう。

◆ ドリームジャンボは、1万円以上の当せん本数が昨年から3割以上増加

ドリームジャンボ宝くじには、他のジャンボ宝くじと同様、「ジャンボ」と「ジャンボミニ」の2つがある。今回、「1等前後賞合わせて5億円」のうたい文句で発売されるのは、ドリームジャンボだ。これに対して、ドリームジャンボミニの当せん金の最高額は、1等前後賞合わせて5000万円となっている。

それでは、ドリームジャンボは、昨年からどのように変更されているのか。

主な変更点は、つぎの5つにまとめられる。

(ドリームジャンボの主な変更点)

- (1) 2等 1000万円の当せん本数が、1ユニット（1000万枚）あたり3本から2本に減少
- (2) 3等 100万円の当せん本数が、1ユニットあたり10本から70本に増加
- (3) 4等 5万円（当せん本数3000本）は、なくなった
- (4) 5等 1万円が4等となり、当せん本数が1ユニットあたり2万本から3万本に増加
- (5) これらの結果、1ユニットあたりの当せん本数は112万3115本から113万174本に増加
(1枚300円に対する当せん金の平均受取額は、149.99円のまま変わらず)

つまり、(1)と(3)で当せん金1000万円と5万円の当せん本数を減らすとともに、(2)と(4)で当せん金100万円と1万円の当せん本数を増やす、という組み換えを行って、平均受取額は据え置いたわけだ。

このうち、注目すべきは、(4)の当せん金1万円の当せん本数が1万本増加する点だ。これにより、1万円以上の当せん金が当たるくじの本数は、1ユニット（1000万枚）あたり、昨年の2万3115本から今年は3万174本へと3割以上増加する。

1枚300円のくじを買って1万円以上の当せん金が当たれば、誰でも嬉しいはずだ。今回、当せん金1万円の当せん本数が増えたことで、この嬉しさを味わうチャンスが広がったわけだ。

これは平均的にいうと、1枚300円のくじを332枚買ったなら、その中に1万円以上の当たりが1枚含まれていることを意味する。ただし、くじをそれだけ買うには9万9600円が必要となり、平均的には持ち出しとなるので要注意だ。

この宝くじは、1万円以上の当せん金を視野に入れながら、5億円の一攫千金を狙うのいうってつけだ。ドリームジャンボは、「高額当せんのワクワク感」を上手に味わうためのくじ、といえそうだ。

◆ ミニは当せん金100万円以上の本数が9.3倍に増加

いっぽう、ドリームジャンボミニはどうか。ドリームジャンボと違って、当せん金の最高額は1等前後賞合わせて5000万円にとどまるが、その分、2等以下の当せんの可能性は大きい。

ドリームジャンボミニは、昨年から、なにが変更となったのか。

主な変更点は、以下の4つにまとめられる。

(ドリームジャンボミニの主な変更点)

- (1) 当せん金 100 万円の 2 等が新設され、当せん本数は 1 ユニット (1000 万枚) あたり 100 本とされた
- (2) 従来の 2 等 5 万円 (当せん本数 4000 本) は、なくなった
- (3) 3 等 1 万円の当せん本数が、1 ユニットあたり 5 万本から 6 万本に増加
- (4) これらの結果、1 ユニットあたりの当せん本数は 115 万 4012 本から 116 万 112 本に増加 (1 枚 300 円に対する当せん金の平均受取額は、150 円のまま変わらず)

つまり、(2) で当せん金 5 万円の当せんをなくすとともに、(1) と (3) で当せん金 100 万円と 1 万円の当せん本数を増やす、という組み換えを行って、平均受取額は据え置いたわけだ。

このうち、注目すべきは、(1) の当せん金 100 万円の 2 等の新設と、(3) の 3 等 1 万円の当せん本数が増加する点だ。

(1) の変更により、100 万円以上の当せん金が当たるくじの本数は、1 ユニット (1000 万枚) あたり、昨年の 12 本から今年は 112 本へと 9.3 倍に増加する。

また、(3) の変更により、1 万円以上の当せん金が当たるくじの本数は、1 ユニットあたり、昨年の 5 万 4012 本から今年は 6 万 112 本へと 1 割以上増加する。

これは平均的にいうと、1 枚 300 円のくじを 167 枚買ったなら、その中に 1 万円以上の当たりが 1 枚含まれていることを意味する。ただし、そのためには、5 万 100 円が必要となり、やはり平均的には持ち出しとなる。

ドリームジャンボミニは、ドリームジャンボに比べて 1 等前後賞合わせての当せん金が小さい。だが、その分、100 万円や 1 万円といった金額の当せん確率が高い。「もしかしたら当せんするかもしれない」という「高確率当せんのワクワク感」を味わうためのくじといえるだろう。

◆ 2 つのくじをもとに、当せんへの期待を膨らませる

宝くじを買うときには、「高額当せん」と、「高確率当せん」という、2 種類のワクワク感があるはずだ。

もちろん、高額当せんの期待をとるか、高確率当せんを重視するか、は人それぞれだ。

そこで、自分がどんな夢を見たいのかをよく考えて、ドリームジャンボとドリームジャンボミニの買い分けを検討してみる。自分は、宝くじにどんな希望を抱くのか、考えてみるわけだ。

— 「5億円もの当せん金が当たったら、当せん金はどう使おうか？」

— 「1万円の当せん金が当たったら、購入額の何倍のもうけになるか？」

— 「そのためには、ジャンボとジャンボミニのくじを何枚ずつ買うことにしようか？」

こんな感じで、いろいろ考えることで、当せんへの期待を膨らませることができれば、幸せな時間を過ごすことができる。この段階で、すでに宝くじを買う効用を味わっているといえるかもしれない。

今回のドリームジャンボ宝くじの発売期間は、5月6日(金)から6月3日(金)までだ。いろいろ考えてくじを買うことで、少しワクワク感を味わってみるのもよいと思われるが、いかがだろうか。

(本稿をまとめるにあたり、参照した Web サイト)

「宝くじ公式サイト」(全国都道府県及び全指定都市)

<https://www.takarakuji-official.jp/>